

議会 だより



令和6年9月1日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検索



ようこそ 議場へ (6月24日 古河市立古河第五小学校3年生の児童26人による市役所見学)

令和6年 第2回定例会開催

第2回定例会は6月11日から6月21日までの会期11日間で開かれ、認定5件、報告9件、議案38件について審議しました。一般質問は6月18日、19日の2日間行われ12人の議員が登壇しました。また、最終日に議員提出議案1件が追加されました。請願1件、陳情1件については、4ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

令和6年第2回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第4号	令和5年度古河市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.6.11	承認
認定第5号	古河市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.6.11	承認
認定第6号	古河市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.6.11	承認
認定第7号	古河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.6.11	承認
認定第8号	令和6年度古河市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	6.6.11	承認
議案第53号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第54号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第55号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第56号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第57号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第58号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第59号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第60号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第61号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第62号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第63号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第64号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第65号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第66号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第67号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第68号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第69号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第70号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意
議案第71号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6.6.11	同意

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第72号	古河市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	6.6.21	原案可決
議案第73号	古河市税条例の一部改正について	6.6.21	原案可決
議案第74号	古河市収入印紙等購入基金条例の廃止について	6.6.21	原案可決
議案第75号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	6.6.21	原案可決
議案第76号	古河市下水道条例の一部改正について	6.6.21	原案可決
議案第77号	総和地域交流センター建設工事（建築工事）請負契約締結について	6.6.21	原案可決
議案第78号	総和地域交流センター建設工事（電気設備工事）請負契約締結について	6.6.21	原案可決
議案第79号	総和地域交流センター建設工事（機械設備工事）請負契約締結について	6.6.21	原案可決
議案第80号	古河市立古河第一中学校屋内運動場長寿命化改良工事請負契約締結について	6.6.21	原案可決
議案第81号	財産の取得について	6.6.21	原案可決
議案第82号	財産の取得について	6.6.21	原案可決
議案第83号	財産の取得について	6.6.21	原案可決
議案第84号	財産の取得について	6.6.21	原案可決
議案第85号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	6.6.21	原案可決
議案第86号	市道の路線廃止について	6.6.21	原案可決
議案第87号	市道の路線認定について	6.6.21	原案可決
議案第88号	令和6年度古河市一般会計補正予算（第2号）	6.6.21	原案可決
議案第89号	令和6年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	6.6.21	原案可決
議案第90号	令和6年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	6.6.21	原案可決
議員提出 議案第2号	脳脊髄液減少（漏出）症の医療改善を求める意見書	6.6.21	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和6年 請願第3号	脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書を 国及び茨城県に提出を求める請願	文教厚生常任委員会	採 択
令和6年 陳情第1号	身内の不幸を物体扱いの「死体埋葬許可証」を故人 を尊厳する「御遺体納骨許可証」に名称変更を国に 求める陳情書	文教厚生常任委員会	不 採 択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市 公明党					市民ベース の会			真政会				無党派					
	佐藤 泉	小森谷博之	鈴木 務	小林登美子	印出 慎也	赤坂 育男	鈴木 隆	渡邊 澄夫	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	佐々木英徳	増田 悟	落合 康之	阿久津佳子	立川 徹	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	稲葉 貴大	関口 和男	古川 一美	秋庭 繁
認定第5号			○			-	○			○				○			○				○	○	×
認定第7号			○			-	○			○		×		○			○				○	○	×
認定第8号			○			-	○			○				○			○				○	○	×
議案第77号			○			-	○			○		×		○			○				○	○	×
議案第78号			○			-	○			○		×		○			○				○	○	×
議案第80号			○			-	○			○		×		○			○				○	○	×
議案第85号			○			-	○			○				○			○				○	○	×
議案第88号			○			-	○			○				○			○				○	×	×
議案第89号			○			-	○			○				○			○				○	○	×
令和6年 陳情第1号			×			-	×			×		×		○		×				×	×	○	○

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

第2回
定例会

一般質問

第2回定例会の一般質問は、6月18日、19日の2日間行われ、12人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずねるため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



立川 徹 議員



小中学校について

問 ①地域移行（地域クラブ活動）の取り組みとして総和北中学校、三和中学校、三和北中学校、三和東中学校の4校においてサッカー部が実証事業に選定された理由、②実証事業の進捗状況と課題、③各中学校における部活動の運営管理、④2年目となるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を運用開始してからの現状と課題、以上について伺う。

答（教育部長） ①意向確認で、サッカー部と報告があったため。②調整会議を適宜開催し、8月の実施に向け準備している。活動の維持・運営に必要な費用等の検証が課題である。③各校で運営方針を決定し運営している。また、教育委員会で実態調査を行い情報共有している。④活発な意見交換により、下校時の見守り活動などが実施された。地域でどう支援するか熟議し、会議を重ねることが重要である。

防犯について

問 ①防犯灯の新設要望の申し込み状況、②古河市以外が設置した防犯灯の管理、③防犯カメラによる映像の管理方法、④防犯対策に関する助成金などの制

度があるか、以上について伺う。

答（市民部長） ①新規の設置要望は令和5年度で83件、本年度は5月末現在で51件あった。②一部は団体の管理だが、全ては把握していない。③古河市防犯カメラの設置に関する要綱に基づき管理している。④現在、防犯対策の助成制度はないが、他自治体を参考に研究していく。

LED 防犯灯設置補助金

三次市では、安全・安心なまちづくりを推進するため、長寿命化によるメンテナンス経費の削減、電気料金の削減、CO2削減などに有効なLED防犯灯の設置に資する工事費用の一部を補助しています。

※ 補助の対象、補助の上限額にご注意ください。

補助対象	LED防犯灯の新設設置（従来型からLED型への換装については、毎年度に引き続き補助の対象外となります。） ※ 公道等の不特定多数の通行利用がある場所への設置が対象となります。設置場所や導入数量の制限があります。補助対象のみに設置する必要（自費負担するもの）は補助の対象外となります。
補助金額	工事費用の2分の1に相当する額 (1) 灯高2.1m以上2.7m以下、1,000円未満の設置 (2) 工事費用は、防犯灯設置に必要な工事費を指し、消費税は含まれません。
補助対象者	三次市内在住の個人または団体
申請方法	①三次市LED防犯灯設置補助金交付申請書に ②工事現場写真（防犯灯の設置位置）③工事費の算出を明記した見積書または領収書の写しを添付して、危機管理課へ提出してください。 ④工事完了後、「三次市内に本店もしくは営業所のある事業者、三次市内に納税申告している個人事業者」としていただきます。

三次市 危機管理課危機管理課
〒728-8501
広瀬第三十番町二丁目番地1号
電話 0824-62-6116 FAX0824-62-2951
e-mail: kikikan@city.miyoshi.hiroshima.jp

補助金制度事例（三次市）



阿久津 佳子 議員



市内公共交通の包摂^(*)について

問 諸制度や市単独事業の移動手段はある。中でもデマンド交通「愛・あい号」(乗り合いタクシー)の利便性は高い。しかし、誰一人取り残さない包摂社会実現において、障がいのある人(特に肢体不自由者)や高齢者にとって課題山積である。①各事業の受益者負担額(利用料金)の不公平感是正、②デマンド交通「愛・あい号」に福祉車両導入、③ライドシェア^(**)、

^{*}包摂…誰もが社会に参画する機会を持ち、排除されないこと(インクルージョン) ^{**}ライドシェア…自家用車で乗客を有償で運ぶサービス

人材確保、④担当部局(課)を超えた横断的方策と福祉施策の展開、⑤公共交通網のさらなる利便性向上と利用促進、SDGs未来都市にふさわしい政策・事業展開、以上について伺う。

答(市長) ⑤利便性向上と利用促進に取り組みながら、関係者と協働し、誰もが安全で自由に移動できる公共環境を整備する。この方針を古河市SDGs未来都市計画に反映させ、将来にわたり持続可能な公共交通網を構築していきたい。

答(市民部長) ②事業者と意見交換、協議の場を設け、導入への可能性について探っていく。③ライドシェアが市民にとって実用性のある移動サービスになるのか、国の動向を注視し検討

していく。また、広く運転手を確保するため、さまざまな担い手が参画できるよう、各事業所等と協働し、積極的に推進していく。④行政、各分野との連携により課題等を整理し、環境や高齢者、障がいのある人に配慮した持続可能な市民サービスとなるよう、交通網を構築する。

答(福祉部長) ①各事業の目的により移動支援に違いがある。制度変更などの機会を捉え、事業内容の整理を図りたい。



福祉車両 例：ジャパンタクシー(写真提供：下関山電タクシー株式会社)



増田 悟 議員



市の施設管理について

問 古河市には建物の施設、公園、その他数多くあるが、各施設は指定管理者が管理していると思う。以前の古河市三和ふるさとの森は、池や公園がきれいに整備されていた。現在では、池の半分以上が土砂で埋まってヨシが繁茂しており、あずまやは屋根鉄板に大きな穴が開いている。相撲場などは32年以上経過している。もっと早い時期に補修工事をすべきだったので

は。今後の対策について伺う。

答(都市建設部長) 安全面を考慮し、大型遊具や木道、通路などを優先して修繕している。議員より指摘いただいた池や、あずまやなどの修繕についても、今後の修繕計画の中に組み込み、計画的に行うよう努力していきたい。指定管理者と連携を図りながら、利用者が安全に利用できる公園を目指していく。

古河市消防団について

問 消防団員の確保については自治体、行政区において団員の確保に苦慮していると思う。1分団から27分団の団員数、また消防自動車の整備および車検等の確認について伺う。

答(総務部長兼危機管理監) 1個分団の定数を15人とし、全27個分団で405人のところ、76人欠員で329人である。消防ポンプ自動車の整備は、各分団で不具合があった場合、市に報告し、早急に整備している。車検については、年度当初に車検証の確認と担当事務局内で情報共有を行っている。車検期日の1カ月前から当該分団と車検事業者との調整の上、車検切れのないよう対応している。





佐々木 英徳 議員



心不全予防について

問 吹田市は心不全予防のための啓発動画を作成し、市民が心不全の予防に努めることができるよう支援している。また、公式ウェブサイトでは、心不全予防に関する情報や生活習慣改善のポイントが掲載され、市民に分かりやすく周知されている。同市の取り組みについて伺う。

答（健康推進部長） 吹田市の取り組みは、同市内にある国立循

環器病研究センターと共同で行っている。古河市としては、生活習慣病を予防することから心不全予防の対策を実施していく。健診で生活習慣を見直し、栄養バランスのよい食事や適切な運動等に多くの方が取り組んでもらえるよう推進していく。

子どもにやさしいまちづくりについて

問 子どもたちは皆、かけがえない可能性をもった宝で、一人一人が希望の存在である。子どもにやさしいまちづくりのため、現在、そして未来へと、可能性と希望に溢れる、誰にでもやさしいまち古河市を目指すべきと考える。市長の考えを伺う。

答（市長） 大人中心の発想や基

準で進められてきたまちづくり、子どもの視点を加えることで誰にでもやさしいまちづくりになる。また、子どもや若者にとって自らの意見が取り入れられる経験などは、社会の一員としての主体性を高めるため、子どものときから社会経験を積む機会を多く創出することが必要である。子どもや若者と共に社会をつくるパートナーとして語り、協働する認識を持つことが、こどもまんなか社会実現の第一歩であると考えている。



鶴見 久美子 議員



職員の働き方改革について

問 人口減少に伴う生産年齢人口の減少、共働き世帯や在宅介護家庭の増加などで、従来の長時間労働が難しくなっており、これまでとは異なる働き方のニーズが高まっている。働き方改革により「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくことで、仕事も私生活も充実する。①市職員の働き方改革の現状と進捗、検証について。笠間市の時差出勤の拡充とお盆中の働き方改革に

ついて②職場の休憩スペースの確保と環境づくりの現状、今後の取り組みについて伺う。

答（総務部長） ①年2回、古河市職員ワークライフバランス推進委員会を開催し、取り組みの進捗管理や、年次休暇取得日数などの目標値に対する現状把握に努めている。笠間市のように、お盆期間中の一部業務休止や業務関連以外で時差出勤を可能とする制度の運用面の拡充を検討する。②休憩スペースが確保できていない庁舎があり、空き会議室などを利用しているのが現状である。令和7年開館予定の総和地域交流センターでは、庁舎機能にない部分を補完するというコンセプトも兼ねており、スペースを有効に利用できるよ

う職場の環境改善に努めたい。



笠間市の働き方改革HPより

福祉サービスについて

問 窓口業務支援ツール「軟骨伝導イヤホン」導入について、課題と所見を伺う。

答（福祉部長） 有効なツールだが、使用頻度や費用対効果等、窓口の状況を見て検討したい。



高橋 秀彰 議員



民生委員・児童委員の負担軽減 と担い手確保について

問 民生委員の活動しやすい環境づくりとともに、民生委員の負担軽減を図り、新たな地域福祉の担い手の掘り起こしとして民生委員の補佐、協力を行う「民生委員協力員制度」の導入が必要と考えるがどうか。

答（市長） 急速に進む少子高齢化などにより、地域のつながりが希薄化するとともに、民生委員の対応する課題が多様化、複

雑化して負担が増大していると考えている。今後の持続可能な民生委員・児童委員活動のためにも、提案いただいた内容を参考に活動しやすい環境の整備や担い手の育成、確保のための取り組みを推進していきたい。

大規模災害に備える携帯トイレ 等の備蓄の推進について

問 災害時のトイレ対策は、公衆衛生を確保し、被災者の命を守り、災害関連死を防ぐための重要事項と位置付けるべきである。今後、本市でも「災害時のトイレの確保・管理計画」等を策定し、災害用トイレの計画的な備蓄などにより、市民の命と尊厳を守る遺漏のないトイレ対策が必要と考えるがどうか。

答（市長） 災害時のトイレ対策は被災者の身体、生命を脅かす重要な問題である。新たなトイレの確保を促進し、トイレ問題による二次災害を起こさぬよう、多角的な取り組みを進めていく。

答（総務部長兼危機管理監） 内閣府のガイドラインでは、平常時のトイレ用品の備蓄から、災害発生後の応急期におけるトイレの衛生管理、環境維持などが示されている。市の地域防災計画で網羅できていない部分は反映し、見直していく。



佐藤 稔 議員



「自治会未加入者のごみ捨て問題」について

問 市内の約3割の世帯は、自治会または行政区未加入であり、地域によってはごみ捨てに対する問題点が指摘されている。市は集積所の運営管理を全て自治会に委ねるのではなく、一定のルールづくりについて早急な対応が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（市民部長） 自治会等から脱退し、集積所が使えなくなると

生活に支障が出るであろうことは承知している。家庭ごみの処理は市町村の責務であり、市民サービスに直結するため、解決に向けたルールづくりなど他自治体や先進事例を参考に研究していきたい。

「不登校児の保護者支援」について

問 市や各学校の取り組みにより、前年度の不登校児童生徒数は減少傾向にあるが、児童生徒はもちろんのこと、保護者支援として不登校児を抱える保護者へのガイドブックの作成が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答（教育部長） 作成に当たり、保護者の不安を和らげ、一人で悩みを抱え込まないように支援

することが大切である。誰一人取り残されない不登校対策を継続する上で、保護者に寄り添うような内容を各学校や市のホームページに掲載するといった提供方法も含め、ガイドブックの作成を検討していきたい。



目黒区のガイドブック

《その他の質問》

- ・ヤード設置規制条例について
- ・電子図書館の開設と音楽配信サービスの導入について



印出 慎也 議員



専門職の市職員採用について

問 令和5年度職員採用試験実施状況から専門職の採用人数が予定人数を確保できていないが、人材確保のために令和6年度以降の新たな取り組みを伺う。

答（市長） 専門性の高い職員の確保は必要不可欠である。採用試験後に再度募集を行うのではなく、随時願書受付・採用を考えていくなど、現在の社会情勢に柔軟に対応できるよう採用の

タイミングの見直しを進める。

ごみ集積所について

問 ミニ開発（1,000平方メートル以下の開発）では集積所設置義務が無いが、現在ごみの出し方や集積所に困っている市民がいる。「古河市ごみ集積所等の設置に関する要綱」の見直しが必要と考えるが、市の見解を伺う。

答（市長） 市民の利便性向上のため、実情に即した柔軟な対応をしていきたい。まずは、市役所と自治会に相談してもらうことで、連携し合って問題解決ができるようになる。

小中学校のトイレについて

問 市内小中学校における屋外トイレ数は県内トップの199カ所あるが、施設の維持管理は必須である。故障しているトイレについて、市の見解を伺う。

答（教育長） 児童生徒にとって安全で快適な学校施設を整備していくことは、大変重要である。指定避難所になっている学校もあるので、修繕を要するトイレについては早急に対応する。



総和北中学校屋外トイレ（故障中）



小林 登美子 議員



古河市の防災対策について

問 ①マイ・タイムライン^(※)普及に向けた取り組み、②水害時での車を使用した避難、③ペットの避難、④給水車の活動内容、⑤防災会議等への女性参加、以上について伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①スマートフォンの作成ツールを公開し、広報等で周知している。②車での避難は時間がかかるため、警戒レベル3までの避難を

※マイ・タイムライン…災害が迫った際に自分がどのように行動するのか時系列でまとめた行動計画表

啓発している。③全指定避難所が同行でき、旧古河産業技術専門学院のみ屋内避難が可能である。スペースに限りがあるため、車中避難等を推奨している。⑤地域女性団体連絡会が委員として加入している。

答（上下水道部長） ④応急給水拠点等へ水を運搬している。



古河市洪水ハザードマップ・ガイドブック等のご活用を

消防団について

問 ①活動紹介動画のリニューアル、②消防ポンプ操法大会に向けた訓練、以上について伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①団員の確保につながるよう協議する。②大会ありきの訓練としないよう、消防団長の意向で訓練を20回程度とし、団員の負担軽減についても提案している。

「SDGs未来都市」選定について

問 ①選定された理由および主な内容、②EV、PHV等の購入時の補助金導入の予定、以上について伺う。

答（副市長） ①カーボンニュートラル実現に向けた企業との連携等が評価されたと考えている。

答（市民部長） ②現時点で導入予定はないが、市民のニーズ等を注視しつつ検討していく。



古川 一美 議員



自治会・行政区について

問 加入率の低下、未加入者のごみ集積所の利用、自治会の在り方の見直しなどが全国的な問題である。一方、防災や地域福祉における役割はますます重要になる。①ごみ集積所の統一ルールが必要では。②自治会の必要性を分かりやすく周知すべきでは。③持続可能性を考え、住民・自治会・行政の役割や責務を明確化する条例が必要では。

答（市長） ②自治会等がなかった場合、実際どうなるのか、必要性に焦点を当てたチラシなどを作成し、未加入者の理解が得られるよう努めたい。

答（市民部長） ①自治会等で独自ルールがあるが、全国的な課題であるので先進事例を参考に研究していく。③10月下旬に長野県小諸市で視察研修を開催予定である。自治会加入が明記されている条例が制定された後の状況を伺い、勉強していきたい。

今年度からの新型コロナワクチン接種について

問 ①ワクチン接種はどう変わるか。②副反応の情報公開が不十分であり、健康被害救済制度の認定件数が増え続ける中での市独自の助成金に違和感がある。

市の推進により起きた健康被害について市の責任はないのか。

答（市長） ②重症化しやすい高齢者においては、助成することで希望者が接種しやすくなると考える。市民自らが選択できるよう丁寧に情報発信していく。

答（健康推進部長） ①65歳以上の方が定期接種対象で、それ以外の方が任意接種となる。②健康被害は極めてまれだが、副反応等を周知し、相談では市民に寄り添った対応を心掛ける。

予防接種 健康被害救済制度に基づく認定件数 (2024年6月10日現在)

	コロナワクチン以外のワクチン全種類 (1977～2021)	インフルエンザワクチン (1977～2021)	コロナワクチン (2021～2024)
被害認定総数	3522	191	7458
死亡認定	151	25	618
後遺障害認定	473	27	76

死亡認定＝死亡一時金・葬祭料の給付件数。後遺障害認定＝障害年金の給付件数。コロナワクチン認定件数のデータは厚生労働省「疾病・障害認定審査会」の資料より。コロナワクチン以外のデータは厚生労働省「予防接種健康被害救済制度 認定者数」より。



秋庭 繁 議員



自衛隊への個人情報提供について

問 本人の同意なく、自衛隊への18歳、22歳の個人情報提供は、憲法および個人情報保護法(※)第69条に抵触しないか。本年度の対象者数、法的根拠、提供後の取り扱い、提供を希望しない「除外申出」の取り組みについて

答（総務部長兼危機管理監） 個人情報保護法第69条第1項の「法令に基づく場合」に該当する。対象者数は2,438人であり、提供された情報を基に、自衛官募集案内を配布している。除外申出については、市ホームページに受付様式を掲載しており、今後広報等の周知を検討する。



が、①新たな建設候補地について②市全体の声を聴ける規模のワークショップとなっているのか、位置付けについて③大ホールを1,500席から1,300席にした根拠、経緯は。④市のPFIによる建設・管理運営計画の考え方について

答（企画政策部長） ①古河警察署西側跡地を候補地としたが、買い取り提示額が高額のため不調となった。②中高生32人、市民約30人で議論し、意見内容をニュースレターにまとめ発行している。③全国的な客席と稼働率を検証し、学校行事等の利用を見込んで想定した。④民間事業者の参入意欲を高める事業スキームを検討しており、市民委員会で議論した上で反映させる。

答（市長） 自衛隊法第97条第1項に基づく国からの法定受託事務であり、自衛官の募集について協力するべきものとする。

(仮称)古河市新公会堂市民委員会について

問 第5回市民委員会では、傍聴者に初めて資料が配布された

※個人情報保護法…正式名称は「個人情報の保護に関する法律」



関口 和男 議員



学校給食の安全管理について

問 ①アレルギーのある児童生徒に対してどのような対応をしているか。②アレルギーにより、お弁当などを持参している場合、何らかのサポートや補助金等を検討しているか。③他県で誤嚥^{ごえん}(*)による事故があったが、古河市の現状と対策について

答(教育部長) ①献立の詳細な情報提供や給食の停止、卵や乳の除去食の提供等をしている。

*誤嚥^{ごえん}…飲み込んだ食べ物や唾液などが、誤って食道ではなく気道(気管)に入ってしまうこと

②本年度中に補助金を支給できるよう進めている。③現在まで重大事故等の報告はない。学校現場からの改善等の意見を献立の安全性向上に反映している。

学校内の安全管理について

問 市内の小学校で出火騒ぎがあったが、状況と対策について

答(教育長) 避難訓練や安全教育を推進し、学校での消防点検を徹底することで再発防止と対策について指導していく。

答(教育部長) 八俣小学校男子トイレにて出火し、ごみ箱とトイレトーパーホルダーが燃え、周辺が焦げた状況であった。児童5人が体調不良を訴えたが、大事に至っていない。

イノシシなどの野生動物の対策について

問 ①児童生徒に対してどのように情報伝達しているか。②遭遇した時の対応についてどのような指導をしているか。③防災無線の活用について

答(市民部長) ①目撃情報を教育委員会に電話、メールにて伝達し、関係部署と連携している。③人的被害の恐れなどの緊急時に注意喚起の放送を行っている。

答(教育部長) ②大声は出さないなど指導を行い、イノシシの生態についても発達段階に応じた平易な言葉で説明している。



この人に決まりました!

清水丘診療所事務組合および茨城県後期高齢者医療広域連合に選出されている議会議員に欠員が生じたため、定例会最終日に補欠選挙が行われ、次の議員が選出されました。

清水丘診療所事務組合

佐々木 英 徳 議員

茨城県後期高齢者医療広域連合

渡 邊 澄 夫 議員

古河市議会を 傍聴しませんか!

市議会はどなたでも傍聴できます。

◆傍聴の手続き◆

当日に議会事務局で住所、氏名を記入していただきます。
本会議場の定員は62人
(うち車いす席2人)です。

◆傍聴場所◆

古河市役所古河庁舎3階

～ 会派の活動を報告します ～

政友会

政友会は令和6年6月27日、「(仮称)古河市新公会堂の進捗状況について」執行部より説明を受け意見交換を行いました。主に(1)基本構想・基本計画市民委員会の設置について、(2)整備に向けた取り組み再開までの経緯について、(3)整備に向けた検討報告

書の概要について、(4)基本構想・基本計画市民委員会の進捗について、の大項目4点を中心に、検討事項や経緯の説明を受けました。新たなまちづくりの拠点となる地域経済牽引事業です。高い付加価値事業であること、そして人口減少の抑制と地域経済の好循環を図ることを目的とした事業で、何よりも市民の皆さま方の関心が高い事業です。いまだに建設エリアが確

定していないなど課題はありますが、ご期待やご要望に応えられるよう、これからも会派での勉強会を通して研さんを積み、執行部へと提言してまいります。



執行部より説明を受ける政友会

古河市公明党

古河市公明党は、会派として推進した事業のうち、給食費の無償化について、5月10日に担当部局より説明を受けました。

古河市は本年度、物価高騰に対する子育て世帯への負担軽減策として、市内小中学校に通う児童生徒と、古河中等教育学校に通う生徒も対象としていると

ともに、区域外に通学している生徒に対しても無償化の対象としています。令和2年度に見直しをして、1食あたり30円の値上げをしましたが、家計の負担等を考慮し公費負担としてきました。本年度はさらなる物価高騰の影響で、食材をはじめ光熱費等の値上げにより、子育て世帯への負担が増加していることから、無償化が実現しました。古河市公明党は、予算要望等

を繰り返し訴えてきました。今後も市民目線に立ち、さまざまなご意見、ご要望を届けてまいります。



担当部局の説明を受ける古河市公明党

市民ベースの会

当会派の勉強会として、「入札について、FM基本方針^(※)および古河文学館2階の活用方法について」執行部より説明していただき、その後、意見交換を行いました。

入札については、談合防止のため県と同様に、予定価格の公表と最低制限価格を設定し、適

正な入札が行われるよう取り組んでいるとのことでした。

また、FM基本方針においては、本年3月に改訂された当該方針書を基に詳細な説明を受けました。財政的には公共施設の維持管理に必要な経費を賄っていないことが確認できました。

さらに、これまでレストラン唐草があった文学館2階の活用方法については、広報等で出店者の募集を行ったが、結実して

いないとの説明を受けました。募集方法等の改善、賃借料の引き下げも視野に入れフレキシブルに考えるよう提言しました。



市民ベースの会勉強会(7月10日)

※ FM基本方針…古河市公共施設等総合管理(ファシリティマネジメント)基本方針

～ 会派の活動を報告します ～

真政会

真政会では、古河駅東部土地
区画整理事業地内の進捗状況等
の確認や今後の開発に関する事
項について、カインズ、ヨーク
ベニマル、無印良品、スター
バックスコーヒーの建築現場を
視察してまいりました。事業の
進捗状況はおおむね順調であり、
カインズ、スターバックスコー

※地域未来投資促進法…正式名称は「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」

ヒーは今年の秋ごろにオープン
でき、ヨークベニマル、無印良
品は来年初頭には、オープンで
できるとのことでした。

また、現在、新たに経済産業
省の地域未来投資促進法^(※)が
適用され進められている、大堤
地区の大規模な開発についても
民間事業者の活力導入に加え、
スピード感を持った対応と今後
の古河市の発展に、会派として
大きく期待をしているところで

あります。引き続き真政会では、
古河市の発展と住民福祉の向上
のために調査研究を進め、古河
市に提言をしてまいります。



会派に属さない議員

一年近くお世話になった市民
ベースの会を退会いたしました。
気持ちよく送り出していただい
た会派の皆さんに感謝申し上げ

ます。もともと、11年前に一人で
始めた活動です。初心に戻って、
改めて本当の市民感覚とは何か、
派手な政策に惑わされることなく、
地味であっても、安全で平等な
古河市を子どもたちに残す活
動を続けていきたいと思いま

す。【年間活動報告】見守り立哨
1,300回、見守り登校釈迦小
200回、クリーン作戦100回、
釈迦小学校地区子供見守り隊代
表、釈迦小学校地区クリーン戦
隊代表、安全協会香取地区委員
(関口 和男)

会派に属さない議員

毎回一般質問で、政策提言や
問題提起を行っています。高齢
者施策、出産・子育て施策、自
治会問題等は市民の皆さまから

の声を反映させました。マイナ
カード、ヤングケアラー支援、
LGBTをめぐる問題、いじめ
問題、人口減少問題、民間活力
の活用、新型コロナワクチン接
種等について施策を問い、提言
しました。八戸市での全国都市

問題会議に参加し、文化芸術・
スポーツを生かしたまちづくり
について視察、学びを深めました。
これからも市民の皆さまとのふ
れあいを大切に、市民の幸福、
古河市の発展のために尽力して
まいります。(古川 一美)

会派に属さない議員

市議会報告会を7月12日(10
時～12時)中田公民館で行い、
20人の参加がありました。報告
内容は、「針谷市政の8年間の特

徴と市民生活について」と題し
て「子育て、教育、福祉」がど
うなったのか。また、(仮称)
古河市新公会堂建設構想、水道
事業の広域化、ごみの有料化な
どについて報告しました。参加
者からは「古河駅前のにぎわい

問題、通学路・生活道路の整備
とごみの有料化」について質問、
意見がありました。

(秋庭 繁)

議員表彰

市議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、全国市議会議長会および茨城県市議会議長会より赤坂育男議員が表彰されました。



全国市議会議長会・茨城県市議会議長会
 ≪議員在職 25 年特別表彰≫

表紙写真を募集しています

あなたの一枚で飾りませんか

詳しくはコチラ



古河市議会HP

◆◆◆ 令和6年 第3回定例会の会期予定 ◆◆◆

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4 本会議 (開会)	5 休会	6 本会議 (質疑)	7
8	9 総務常任委員会 産業建設常任委員会	10 文教厚生常任委員会	11 決算特別委員会	12 決算特別委員会	13 決算特別委員会	14
15	16	17 議場コンサート 本会議 (一般質問)	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (一般質問)	20 本会議 (閉会)	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

○開催予定時間は午前10時です。
 ○産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分です。
 ※変更される場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

第2回定例会の傍聴者数

本会議	40人
委員会	2人
議場コンサート	10人
合計	52人
※傍聴者数は延べ人数	

議会の様子・会議録 を見てみよう!

古河市議会ホームページ、
 または下記2次元コードから
 ご覧になれます。



議会中継



会議録

編集後記

今号では、6月定例会での議決一覧、請願1件、陳情1件、12人の議員による一般質問や各会派の活動報告を掲載しております。特に一般質問は、市民の皆さまの声を古河市に届ける機会なので、議会傍聴やインターネット中継でご覧いただくと、より議会が身近に感じられると思います。また、表紙写真の応募も随時お待ちしておりますので、議会だよりにふさわしい素敵な写真がありましたら、ぜひお寄せください。
 委員長 印出 慎也

【議会だより編集委員会】

委員長 印出 慎也
 副委員長 立川 徹
 委員 小林登美子 稲葉 貴大
 鶴見久美子

古河市議会事務局
 古河市長谷町 38 番 18 号
 ☎ 0280-22-5111 (代)



環境にやさしい植物油インキ
 を使用しています